

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】平成19年1月18日(2007.1.18)

【公開番号】特開2005-266908(P2005-266908A)
 【公開日】平成17年9月29日(2005.9.29)
 【年通号数】公開・登録公報2005-038
 【出願番号】特願2004-74536(P2004-74536)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 9/46 (2006.01)
G 0 6 F 13/00 (2006.01)
G 0 6 F 15/00 (2006.01)
G 0 6 F 15/16 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 9/46 3 6 0 F
 G 0 6 F 13/00 5 3 0 A
 G 0 6 F 15/00 3 1 0 T
 G 0 6 F 15/16 6 2 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月22日(2006.11.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

データ部と、前記データ部を処理する仕様を示す仕様部と、前記仕様部で仕様が示されている処理を行う命令を含むプログラム部を備えるメッセージを受信し、

受信した前記メッセージ中のプログラム部に含まれる命令の実行時に、実行する命令により行われる処理の仕様を示す仕様部を決定し、

前記実行する命令により行われる処理の仕様を示すと決定された前記メッセージ中の仕様部により示される仕様により、前記データ部を処理することを特徴とするデータ処理方法。

【請求項2】

データ部と、前記データ部を処理する仕様を示す仕様部と、プログラム部を備えるメッセージを受信し、

受信した前記メッセージ中のプログラム部に含まれる命令の実行時に、実行する命令により行われる処理の仕様を、受信したメッセージ中の仕様部が示す場合、前記仕様部により示される仕様により、前記データ部を処理することを特徴とするデータ処理方法。

【請求項3】

データ部と、前記データ部を処理する仕様を示す仕様部と、命令を含むプログラム部を備えるメッセージを受信し、

前記プログラム部に含まれる命令は、命令により行われる処理の仕様を示す仕様部を識別するための仕様部識別子、及び、前記データ部を処理する仕様を識別するための仕様部識別子を備え、

前記プログラム部に含まれる命令の実行時に、実行する命令が備えた仕様部識別子に基づき、受信した前記メッセージ中の仕様部が示す仕様でデータ部を処理する場合、実行する命令が備えた仕様識別子に基づき、前記仕様部に含まれる仕様により、前記データ部を

処理することを特徴とするデータ処理方法。

【請求項 4】

データ及び前記データを識別するためのデータ識別子を含むデータ部と、前記データ識別子のデータを取得することを示す前記データの処理仕様を含む仕様部と、命令を含むプログラム部を備えるメッセージを受信し、

前記プログラム部に含まれる命令は、命令により行われる処理の仕様を示す仕様部を識別するための仕様部識別子、及び、前記データを処理する処理仕様を識別するための処理仕様識別子を備え、

前記プログラム部に含まれる命令の実行時に、実行する命令が備えた仕様部識別子及び処理仕様識別子に基づき、受信した前記メッセージ中の仕様部に含まれる処理仕様でデータを処理する場合、前記処理仕様に基づき、前記データ部が含むデータを取得することを特徴とするデータ処理方法。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 のいずれか 1 項のデータ処理方法を実行するデータ処理プログラム。

【請求項 6】

メッセージを受信する受信手段と、受信したメッセージを処理する処理手段を有し、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項のデータ処理方法を実行することを特徴とするデータ処理装置。

【請求項 7】

データ部と、前記データ部を処理する仕様を示す仕様部と、プログラム部を備えるメッセージの構造であって、

前記プログラム部は、前記メッセージ中の仕様部が示す仕様により、前記データ部を処理することを示す命令を含むことを特徴とするメッセージの構造。

【請求項 8】

第 1 のタグで定義されるデータ部と、第 2 のタグで定義される仕様部と、第 3 のタグで定義されるプログラム部を備えるメッセージの構造であって、

前記仕様部は、前記データ部を処理する仕様を示し、

前記プログラム部は、前記仕様部が示す仕様により、前記データ部を処理することを示す命令を含むことを特徴とするメッセージの構造。

【請求項 9】

データ及び前記データを識別するためのデータ識別子を含むデータ部と、前記データ識別子のデータを取得することを示す前記データの処理仕様を含む仕様部と、命令を含むプログラム部を備えるメッセージの構造であって、

前記プログラム部に含まれる命令は、命令により行われる処理の仕様を示す仕様部を識別するための仕様部識別子、及び、前記データを処理する処理仕様を識別するための処理仕様識別子を備えることを特徴とするメッセージの構造。

【請求項 10】

請求項 7 から 9 のいずれか 1 項の構造を有するメッセージを生成するメッセージ生成方法。

【請求項 11】

請求項 7 から 9 のいずれか 1 項の構造を有するメッセージを送信するメッセージ送信方法。

【請求項 12】

請求項 7 から 9 のいずれか 1 項の構造を有するメッセージを生成するメッセージ生成プログラム。

【請求項 13】

請求項 7 から 9 のいずれか 1 項の構造を有するメッセージを送信するメッセージ送信プログラム。